



今月号の表紙

平成27年留萌市成人式

平成27年留萌市成人式が、1月11日(日)に文化センターで開かれ、出席した172人の門出を祝いました。

艶やかな振袖や袴、スーツに身を包み、懐かしい友人と記念撮影や談笑する姿があちらこちらで見られ、式典では大人としての自覚と責任を持って歩もうと誓い、気持ちを新たにしました。



今月号のおもな内容

- ② - ③ 留萌おもてなし・おもいやり物語
- ④ - ⑤ 地域創生
- ⑥ - ⑦ 平成26年度 市政懇談会の報告
- ⑧ - ⑮ 議会だより

- ⑯ - ⑲ 暮らしのお知らせ
- ⑳ - ㉑ 健康ひろば
- ㉒ ごみ減量のコツ
- ㉓ 留萌市情報アンテナ





▲手作りの小物や日用品が販売されるスマイル・フェスティバル

平成13年、市立病院の現在地への移転に合わせて産声をあげた、病院ボランティアボランティア・スマイル(以下ボランティア・スマイル)では、現在42人のメンバーが在籍し、開かれた病院づくりのため活動しています。

ボランティア・スマイルでボランティアコーディネーターを務める神田千春さんは、「市立病院が地域の皆さんに愛される病院として運営していくためには、医療従事者だけではなく、病院運営に市民の活動を取り入れ、来院される方の不安を取り除くことが大切です。ボランティア・ス

マイルは、患者さんが安心して来院できるように、ゆったりとした環境をつくり、患者さんやその家族との触れ合いを通して病院との架け橋となるよう、笑顔と優しさをモットーに「おもてなしの精神で活動しています」。

問 病院ボランティア ボランティア・スマイル事務局(市立院内)

☎ 49-1011

病院ボランティア ボランティア・スマイル

安心して来院できるよう 笑顔と優しさを 笑顔と優しさを



ボランティア・スマイル
かんだ ちほろ
神田 千春さん



▲本を身近に感じてもらう「こどもたちによるこどもたちへのおはなし会」

留萌から書店の灯を消してはならないとの思いから立ち上がり、(株)三省堂書店出店の大きな原動力となった三省堂書店を応援し隊は、るもいプラザや市立病院の本の出張販売、市立病院の託児所や留萌ブックセンターby三省堂書店で開かれるおはなし会のほか、イベントなどのお手伝いを行っています。

おはなし会で本の読み聞かせや朗読などの活動を行う三省堂書店を応援し隊のメンバー塚田裕子さんは、「おはなし会は一人でも多くの方が本の魅力に触れつつ、書店に足を運んでもらう機会を作ろうと、平成23

年の開店当初から続けている活動です。目をキラキラと輝かせ、食い入るように聴く子どもたちの心の中は、きつと自分自身を登場人物に置き換え、自分の世界を作っているのしょう」。

問 三省堂書店を応援し隊事務所(留萌ブックセンター内)

☎ 43-2255

本は夢へといざなう 空想と未知の世界

三省堂書店を応援し隊



三省堂書店を応援し隊
つかだ ひろこ
塚田 裕子さん

人口減少・地方創生 プロジェクト

人口減少・超高齢化という大きな課題に対応し、市の特徴を生かした自律的で持続可能な社会の創生のため、平成26年12月、「留萌市人口減少・地域創生プロジェクトチーム」を設置しました。



地方創生関連法が成立

平成26年11月21日に地方創生関連法が成立しました。

この法律は「まち・ひと・しごと創生法」および「地域再生法の一部を改正する法律」の2つを指し、地方創生の中心となるものです。

「まち・ひと・しごと創生法」は、地域の活力などを引き出し実施するための地方創生の理念や全体的な戦略策定の方法などを定めています。

「地域再生法の一部を改正する法律」は、平成17年に制定された「地域再生法」を改正するための法律で、地域の活性化に取り組む地方自治体を支援するものです。

市においても、「まち・ひと・しごと創生法」および「地域再生法の一部を改正する法律」の成立を受け、将来に向けて人口の減少や流出に歯止めをかけるため、今後の取り組みべき方向性についての議論を進めていくことが求められます。



2040年には留萌市の人口は1万3千人に減少

国勢調査において、市の人口の推移は、1965年の40,231人、231人をピークに減少傾向が続き、2010年には24,457人、457人となつていきます。

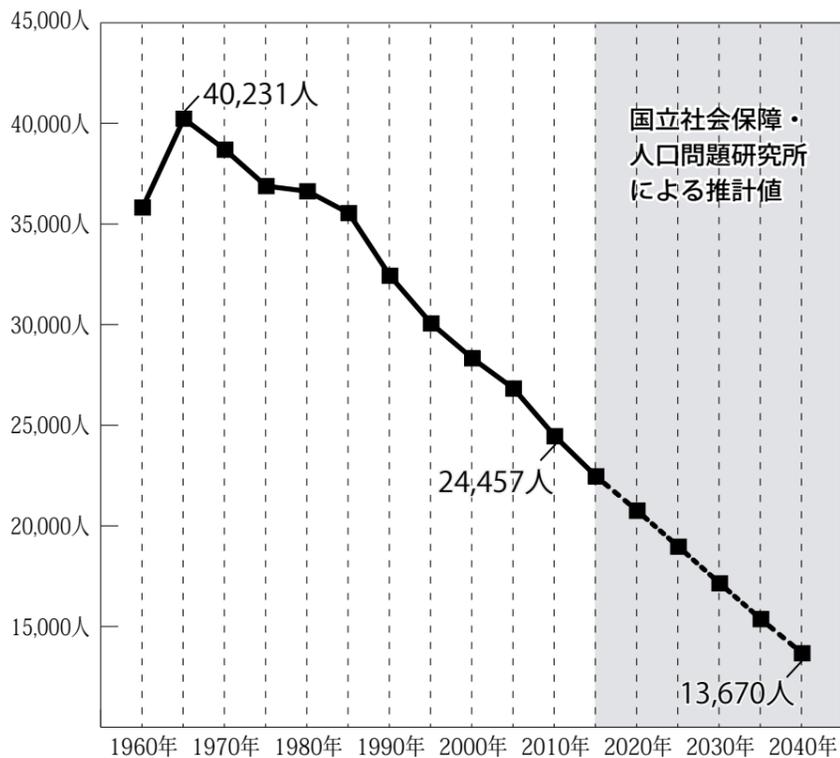
平成25年3月に国立社会保障・人

口問題研究所において「日本の地域別将来推計人口（2013年3月推計）」が公表されました。

これは、2010年の国勢調査の人口を基に、2010年10月1日から2040年10月1日までの30年間の将来人口を5年間ごとに推計したものです。

留萌市の将来人口は、2040年

●留萌市の人口推移と将来人口の推計



※2010年までの総人口は「国勢調査」の数値により作成(基準日:10月1日)
※2015年以降の数値は「国立社会保障・人口問題研究所」の推計値により作成

留萌市人口減少・地域創生プロジェクトチームの設置

市は、「まち・ひと・しごと創生法」および「地域再生法の一部を改正する法律」が成立したことを受け、速やかに市長をチーム長とする「留萌市人口減少・地域創生プロジェクトチーム」を設置し、次の項目について検討しています。

- ① 地方への新しいひとの流れをつくること
- ② 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにすること
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえること
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
- ⑤ 地域と地域を連携すること
- ⑥ その他まち・ひと・しごと創生に関すること

プロジェクトチームは、平成27年12月31日まで設置し、庁内に「留萌市人口ビジョンワーキンググループ」、留萌市地方創生ワーキンググループ」を設け、市の将来人口のシミュレーション、市におけるまち・

地方創生も市民会議の設置

市は、住民参加型の協議の場として「地方創生も市民会議（以下市民会議）」を設置し、市の将来人口ビジョンを参考に、市が目指す将来のまちづくりのための重要な課題について議論を進めていきます。

市民会議は、公募により選出された市民および市内の各団体から選出された市民で構成されており、創生総合戦略の策定に向けた意見をいただきます。

地域創生に関する市の取り組みについては、市ホームページ (<http://www.e-rumoi.jp/>) をご覧ください。「広報もい」では、「市の人口減少分析」および「地方創生も市民会議の開催結果」についてお知らせします。

お問い合わせは
政策調整課 ☎42-1809
<http://www.e-rumoi.jp/>

分類項目	意見や質問の内容	回答
(1)災害に強い地域づくりのために 「避難行動要支援者の個別計画をつくらう」	要支援者に関する個人情報の管理はどこで責任を持つのですか。 災害時に助けを当てにして待っていた要支援者が亡くなってしまい、地方の家族から訴えられた場合など行政はどう考えているのか教えてください。	町内会、市、消防署など関係機関が情報を共有し、それぞれで責任を持ちます。 災害時では、まず、自分や家族の安全確保が優先されますので、町内会の支援者の方に法的な責任などを負わせるものではありません。避難行動要支援者の方についても、必ず支援されることを保証するものではないことを伝えています。
(2)今年の除排雪計画について	路線を除排雪しても、すぐに雪を出すので、道幅が狭くなる路線での対策を講じてほしいです。 入居者が独居老人のみの市営住宅の除雪に大変苦労しています。町内会では限界があるので、毎回とは言いませんが、溜まったときには、除雪をお願いしたいです。	その道路の場所や条件により、すぐに幅員が狭くなる路線があります。多くの場合は幹線に面する枝線の幅員が狭いために、幹線道路に除雪した雪を出しているものと地先からの雪出しによるものと認識しています。町内会なども含めた枝道の除雪方法のあり方、現地状況を再確認し、必要に応じて対応したいと考えています。 市では、一人暮らしなどで本人や協力者による除雪が困難な方には、緊急時の安全確保などを図る除雪サービス事業を行っていますので、市・介護支援課、市・地域包括支援センターにご相談ください。
(3)留萌市の介護保険について	3年に1回保険料を見直していますが、高齢者の割合が増えていくとどこまで高くなるのですか。 次回の改定で介護報酬を5%下げるとい話があります。そうなれば保険料も下がるのですか。	介護報酬の増減による影響はありますが、今後は、高齢者人口の増加に伴う介護給付費が増えることにより、保険料は上昇する見込みです。
(4)首都圏における留萌観光物産PRについて	東京などでのPRは、地元の人間としてはあまりピンとこない。外でのPRばかりではなく、来た人に対するPR活動にも、もっと力を入れてほしいと思います。	現在、市内で開催される全道、道北の会議や大会などで観光パンフレットなどの配布を実施しています。また、留萌観光協会でも特産品の売店を臨時出店しており、留萌のPRを実施しています。
(5)その他の項目について	ごみの仕分けが大切なのは理解していますが、高齢者世帯になると細かいところまでの区分けは難しいので、もう少し仕分けを少なくできないのですか。	細かい仕分けにより、資源化や処分場の延命などに繋がり、ごみ袋の料金や新しい処分場を造る際の市民負担にも影響します。平成27年度も引き続き、皆様のご協力をお願いします。
	温水プール「ぶるも」の一部再開は、利用者からは大変喜ばれています。今年度は短期間の再開でしたが、来年度のプールの再開にあたり、利用者からアンケート調査するなど意見を取り入れてほしいです。	平成27年度も26年度と同様に小学校のプール授業で使用します。 また、今年度、プール授業として使用しない夏休みの一般開放時期に、アンケートを実施しましたが、回答件数が少数であったため、来年度は実施方法を改善して実施する予定です。
	地震がきて、留萌市の庁舎が潰れてしまったら防災の拠点がなくなってしまう。 耐震診断、建替計画など検討すべきではないでしょうか。 市立病院の小児科は予約していなければ受診できないと聞きましたが、実際はどうなのですか。急病のときにかかれないのではと、お母さんたちが心配しています。	市の庁舎の建替計画はありませんが、市の庁舎全体が老朽化してきており、特に本庁舎については、建設後50年以上経過していることから、今後、対応を検討していきます。 なお、災害などにより市の庁舎が使用できない場合、市立図書館に災害対策本部を設置することとなっています。 現在、小児科で完全予約となっているのは、ワクチン外来、心臓外来、内分泌外来などの一般診療以外の外来となっています。一般診療については、予約外の受診も以前と変わりなく受けています。

未来に向け新しい流れ、輝き続ける留萌づくりを進めるために…

平成26年度

市政懇談会の報告

市は、「輝く留萌挑戦物語」をテーマに、平成26年度の市政懇談会を、平成26年11月29日(土)留萌産業会館2階大ホールにおいて、町内会役員など市民71人の参加をいただき開催しました。

市からの報告と皆さんからいただいた意見などを紹介します。



市政懇談会のテーマと市からの報告

市政懇談会は、市民の皆さんと新たな未来の留萌づくりに取り組み、子どもたちが輝きを持ち、お年寄りがいきがいを持って暮らすことができる、市民の笑顔が絶えない「誇りと満足をめざすみなとまち留萌」を実現するため、多くの皆さんから意見を聴き、また、情報の共有を進めることを目的に、毎年開催しています。

(1)災害に強い地域づくりのために
「避難行動要支援者の個別計画をつくらう」

(総務部)

東日本大震災の教訓から、災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者など(避難行動要支援者)の対応策について、現在、市が進めている「避難行動要支援者」名簿の整備、「個別計画」の作成、今後の事業の進め方および今後の取り組みなどについて報告しました。

(2)今年の除排雪計画について

(都市環境部)

近年の降雪量や運搬排雪量の推移、除雪出動基準や作業時間帯などの除雪計画、ダンプロトラックや融雪機の無料貸し出し制度の利用件数、市が平成26年度に導入した大型ロータリー除雪車などについて報告しました。

(3)留萌市の介護保険について

(市民健康部)

近年の高齢者人口と高齢化率、要支援・要介護認定者数の推移、要支援・要介護認定区分の目安、介護保険サービスの利用の流れ、市内の高齢者向け施設の種類の説明、介護費用と保険料の推移、平成27年度から始まる次期(第6期)介護保険事業計画の策定などについて報告しました。

(4)首都圏における留萌観光物産PRについて

(地域振興部)

日本一の生産を誇る「数の子」を東京でPRするための留萌フェアなどの実施、留萌産品の販路拡大の取り組みとして道内外で開催された物産展などへの参加、海外販路拡大を目指し、サハリン州ユジノサハリンスク市で開催された道北物産展への参加、首都圏のレストランなどで留萌食材が使われていることなどについて報告しました。

多くの意見などをいただいたグループ別意見交換

市からの報告に続き、参加者は8つの班に分かれ、各席に配置した市の職員とグループ別意見交換を行いました。主な意見や質問に対する回答については左ページをご覧ください。また、市ホームページ(<http://www.e-rumoi.jp/>)に、皆さんから寄せられた意見や質問を掲載しています。

市では、今後も皆さんとの対話を大切に、皆さんからいただいた貴重な意見や要望を市政の参考にし、未来に向け新しい流れ、輝き続ける留萌づくりを進めていきます。



会場	皆さんからいただいたご意見	意見交換会での議会の回答
東 部	萌寿園に92名の待機者がいると聞いています。何年で待機者が解消するのですか。	議会としても待機者解消について市に要望はしています。今後、第6期高齢者保健福祉計画策定に向け要望していきたいと考えています。
	南町は行き止まりが多く、雪を捨てる場所がありません。年に1回でも雪を排出できればありがたいです。	切実な問題だと思います。持ち帰って担当の部署に伝えます。
	議員定数のアンケート調査で、定数削減が50%を超えたのに、なぜ、現状維持なのですか。何のためにアンケートを行ったのでしょうか。	アンケート結果については、議論の中で十分参考にさせていただきましたし、今後の考え方の参考にさせていただきます。今回の決定については、さまざまな協議の結果ということでご理解願います。
幌 糠	国道と市道、道道と市道との交差点の除雪については、市道の除雪が後になるので、国や道と連携して除排雪してほしいです。	各道路の交差点付近の除排雪は、連携して行うように努めると報告を受けていますが、市民の皆さんが困らないよう担当の部署に伝えます。
	学校や公共施設の屋根や壁などの修繕がされていません。塩害対策などをどのように考えているのですか。公共施設の維持管理をしてほしいです。	公共施設の維持管理は、長寿命化計画に基づき調査を行っているところです。維持管理については議会としても関心を持っていきますが、施設に関する関係者の皆さんからも市に要望してほしいと思います。
港 南	高齢者にとっては、除雪して置いていかれた硬い雪を処理するのは大変です。どうにかできないでしょうか。	問い合わせが担当の部署に来ているのは把握していますが、震災以降、オペレーターが不足して確保が難しい状況も聞いています。議会からも技術の向上についてもお願いしています。
	ぶるもは、高齢者の健康増進のため、水中歩行などの利用をしたい方もいると思います。そのためには4月から10月までの7カ月間は開けてほしいです。	議会でも、学校授業だけでなく、健康増進のための使用も提案しています。今後も担当の部署と話し合っていきたいと思っています。
港 西	オペレーターが代わって除雪が悪くなったと思います。除雪契約にオペレーターの経験なども入札条件にしてはどうでしょうか。	市民からの苦情でも技術の問題などの意見があります。議会からも対策について提案はしていますが、今日の意見は担当の部署に伝えます。今後も引き続き、議会としても検討していきたいと思っています。
	ぶるもについては、以前は午後9時まで開放していましたが、今回の開放時間は財政的な問題なのでしょうか。	財政健全化中であり、再開に係る運営経費の上限が2千万円という予算が提示され、今回の開放時間となっています。
港 北	春日町の堺団地の私道がツルツル路面で、よく、まき砂を使っています。そのまき砂は千望高校の生徒が準備してくれており、千望高校には大変感謝しています。	千望高校の件は、大変ありがたいと思っています。担当の部署でもまき砂は用意していますが、この件についても要望していきたいと思っています。
	春日町地区は、交通の利便性が良くないので、高齢者向けの対応などができないでしょうか。また、住民センターでの移動窓口業務などできないのですか。	移動窓口に関しては良いアイデアであり、デマンドバスなども議論していきます。利用者目線の施策について研究していきたいと思っています。
	ぶるもの再開を喜んでいます。一番の目的は、子どもたちの体力の向上と水泳技術の習得です。子どもたちへの施策を強く要望したいです。	財政健全化のため休止していたぶるもは、子どもたちの命を守る水泳技術の習得のため2年間前倒しで再開しています。
港 東	東雲町に住んでいます。川に雪を捨てている業者がありますが、違法ではないのですか。	違法だと思いますので、そのようなことが起きないようにパトロールも含め、対応を検討したいと思います。
	市民に関心があるものとしてごみ問題があると思いますが、今回のテーマとして取り上げなかったのはなぜですか。	限られた時間のため、テーマを絞らせていただきました。次回以降のテーマになることも考えられますので、よろしくお願いします。

もくじ

議会です こんにちは

P 8～10 特集 議会活性化の取り組み
P11～13 第4回定例会一般質問項目
こんなことが決まりました
P14 各常任委員会からの報告
P15 研修会報告
組合議会報告 ほか

特集 議会活性化の取り組み

現在、留萌市議会では「市民にわかりやすく開かれた」そして「市民とともに」の議会づくりを行うために、「市民参加の機会拡充」および「市民への説明責任を果たす」ことを実現させるため「市民と議会の意見交換会」を平成26年11月10日、11日、14日の3日間、市内6カ所のコミュニティセンターで実施しました。

今回はテーマを「平成26年度の除排雪について」「温水プール「ぶるも」について」としました。意見交換会では各地域の除排雪、温水プール「ぶるも」に対するご意見・ご要望、各地域で抱えている問題点などを聴くことができました。

この「市民と議会の意見交換会」はこれから年に1回定期的に行い、議会との意見交換を希望する団体（町内会、福祉団体、文化団体など）も募集しています。留萌市議会では、この新しい取り組みを通じ、留萌市議会を身近に感じ、興味を持っていただけるよう準備しています。（詳しくは、議会事務局または市議会ホームページで確認してください）

左ページに6会場（各コミュニティセンター）、54人の皆さんからいただいたご意見および意見交換会での議会の回答（一部抜粋）をご紹介します。

意見交換会で寄せられた皆さんの声は、その内容を十分精査し、各常任委員会などで議論させていただきます。多くのご意見を寄せていただき、ありがとうございました。



議 員の出席者数に対し、市民の出席者の少ないこと。市民の意見・要望を聞きたいのであれば、一回の連絡でなく、二回、三回と町内会を利用し回覧などでPRをして、一人でも多くの市民が出席するようにすべきです。限られた時間内での会なのに、議会の主な活動状況や審査経過などの報告に時間がかかり過ぎです。市民からの意見、要望、質問に対する回答は短く分かりやすくしてほしいと思いました。また、市民の多くが疑問に思っている議員定数については、アンケートでは削減の意見が多かったのに議会で現状のままとは。

除排雪についてなどの意見や要望、質問に対し、もう少し分かりやすく、納得のいく回答がほしかったです。

全体では、型通りの交換会であった感を受けました。最初の会ですので致し方ないことですが、今後も二回、三回と、そして、次回は夏期にも開催してほしいです。(時期が違えば、意見、質問も違ってくると思います。)

(東部コミュニティセンター 島田泰生さん)

この意見交換会は議会基本条例に基づき開催されたものと思います。地元選出議員がいらない地域のため、議会の情報を直接伝える各議員の姿を新鮮に感じました。

テーマも除排雪と温水プール「ぶるも」など地域の生活に直結するもので、関心を持って聞きました。定期的な情報提供と意見交換の機会を望みます。

議会が身近なものに感じる意見交換会でしたが、もっと議会の権限や行政監視機能の説明も必要だと思います。今後の活動に期待しています。

(港北コミュニティセンター 匿名希望)

市民と議会の意見交換会に参加して

皆さんからいただいたご意見を掲載します(一部抜粋)

除 雪と温水プール「ぶるも」についてでしたが、初めて参加しました。もっと前から町内回覧で教えてほしかったです。もっと参加する市民が多かったと思います。

道道だと、市役所は関係ないので、こういうところで話し合ったことを道の人にも要望してくれるとかじゃないと、みんなが関係するようになってほしかったです。温水プール「ぶるも」の件については、子どもたちや若いお母さんなどと別に集まり意見交換をした方がよいと思いました。

(港西コミュニティセンター 匿名希望)

初 の意見交換会開催ということで、参加者は少なかったものの、参加者のほぼ全員から積極的な意見が飛んでいました。参加した市民の思いは、除排雪でもぶるもでも、ただ留萌を住み良くしてほしいです。議員の皆さんと同じ思いです。

せっかく市民の声を受け止める場を設けるのであれば、たくさんの市民を集められるよう、次回ほもっと関心を持ってもらう努力をしてほしいと思います。今回出された意見や要望が無駄にならないようお願いしたいです。

(港南コミュニティセンター 匿名希望)

今 回の意見交換会に参加し、会場に入り驚いたことは参加市民の少なさでした。議員数8名に対し、参加市民8名、なぜ声かけなど参加者を募ることをしなかったのかと思いました。

今回のテーマである除排雪や温水プール「ぶるも」の件については、それぞれ意見が出ておりました。

次回このような計画をされるときは、せっかく経費をかけて行うことなので、ぜひ一人でも多くの方が参加できるような工夫をお願いします。

(港東コミュニティセンター 橋本喜代子さん)

市民と議会の意見交換会を終えて

留萌市議会議長 小野 敏雄

留萌市議会基本条例が施行され、初めての市民と議会の意見交換会が実施されました。

あいにく参加人数は少なかったのですが、議会初めての事業であり、少ないながらも市民の皆さんのさまざまな意見を直接聞くことができた貴重な機会となりました。

市民の皆さんの声を行政に届け、政策として立案、実現していくことは、我々議会の重要な役割のひとつです。市民の福祉向上という目的は同じであっても、行政とは異なる視点、視線で多角的にチェック機能を果たすことが必要な議会にとっては、広報広聴機能の

充実は大変重要な課題となっています。

市民の議会への参加という面からもこの意見交換会は大切にしなければなりません。

今後とも多くの市民の皆さんの参加をお願いしながら、この市民と議会の意見交換を実施し、より市民に開かれた、わかりやすい議会となるように努めて参りたいと思います。



平成26年第4回定例会 一般質問と答弁を詳しく紹介いたします

菅原千鶴子 議員 (民主クラブ)

一、温水プール「ぶるも」再開と今後について

二、市立病院のこれから

問一 教育委員会では今年度学校教育に特化した考えで、温水プール「ぶるも」を再開したと思うが、再開してその利用状況について評価をするとしたら、どのような成果があったと考えているか。

答一 予想を上回るプール利用となった。市内の小学校で



▲温水プール「ぶるも」

は平成二十五年度までは深川に年一回行くだけだったが、二十六年度は温水プール「ぶるも」で、水泳授業として三回ずつ授業を実施できた。今回の再開は財政健全化計画中ということもあり、二十七年

度中は二十六年同様の開館とする方針で決定している。

問二 市立病院の持つ役割として、一次医療からの受け入れ機関としての大きな役割がある。また、この地域の基幹病院としての役割もある。

市には、特別養護老人ホームや老健施設などがある。民

間に療養型の病棟を持つている病院もあるが不足していると考えられる。待機期間について聞きたい。また、病院開設者としてそして自治体の経営者として今後どのようにしていくのか伺いたい。

答二 現在、市立病院入院患者の待機期間は最長で四カ月ぐらいで平均は二カ月半ほど待っていたらいい。留萌市内には療養病床が百十七床あるが、不足しているのが現状である。

野崎 良夫 議員 (無党派)

一、民生委員制度について

二、木材産業の施策について

問一 民生委員は民生委員法により、社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めることを任務としている。

市には現在、民生児童委員が七十人、主任児童委員が八

人の体制で活動している。法の定めにより、無報酬のボランティア活動である。現代社会にマッチしてはいないのではないか。調査活動謝礼金も、財政健全化計画により、三万七千八百円から、一万二千元に減額されているので復元の余地はないのか伺いたい。

答一 民生委員の担っている高齢者支援、児童虐待、災害時対応などを考えた場合、重要性を増している。業務に対する責任などを考えた場合、役割や位置付けを明確にし、活動謝礼金も検討したい。

問二 市では、平成二十四年度に留萌市森林整備計画、二十五年度に留萌市地域材利用推進方針、この度は留萌市農林水産業振興基本計画が策定され、森林木材産業に大きな関心と期待が寄せられ、林業の再生が求められている。

留萌港から韓国、中国向けのトドマツ材の輸出や留萌小学校をはじめとする公共建築物に地域材が使用されるなどが挙げられるが、今後の利用状況と販路の拡大、また、雇用の創出の活路を見出す知恵と発想について伺いたい。

坂本 茂 議員 (無党派)

一、介護保険について

二、市立病院について



▲道産材を利用した留萌小学校

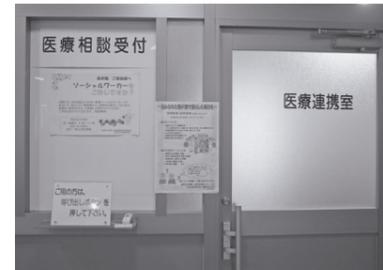
答二 平成二十五年度に策定した留萌市地域材利用推進方針に基づき、道内の森林から産出され、道内で加工された地域材を公共建築物などに使用することを促進しており、今後とも可能な限り地域材を使用して行く考えだ。

木材産業で雇用拡大につながっていくよう、行政としてできる範囲で支援を続けていきたい。

問一 国は昨年六月、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(総合確保法)」を公布。平成二十七年四月から始まる介護

保険の「第六期事業計画」から、要支援一と要支援二に認定された方への訪問介護（ホームヘルプ）と通所介護（デイサービス）を、介護保険制度によるサービスから外して市町村に委ねる決定をした。一方、国は市町村の「準備不足による混乱を避ける」として、具体的実施について三年間の猶予を認めた。

【答一】医療相談の扱い総件数は三千八百八件。医療費支払いに関する相談は二百四十六件。他の病院・施設への転院に関する相談は一千五百二十三件である。相談室の表示と案内については、一階ロビーと各病棟に掲示しているが、今後も、さらに患者やご家族が気軽に相談できる体制を構築し、医療相談窓口の周知について工夫しPRに努めていく。



▲市立病院に設置する医療相談窓口

川口 宏和 議員 (萌芽クラブ)

【問一】市立病院が行う医療相談への患者の期待は年ごとに高まっている。
【問二】平成二十五年度の相談の概要と相談室の窓口をもっと患者に分かりやすく表示する工夫が必要ではないか。

一、留萌市立小中学校適正配置計画の今後について
【問一】留萌市立小中学校適正配置計画では、小学校三校、中学校二校とする計画となっている。教育委員会では、本計画の目標年次である平成

二十九年度に向け、学校統廃合を進めていく方針であるが、学校を支えているのは保護者や地域住民でもある。統廃合を進めていく方針であれば、統廃合の対象校の保護者や地域住民との話し合いを今後どのように進め、共通理解を得るのかが聞きたい。
【答一】学校の統廃合については児童生徒に二回の統廃合を経験させないように配慮するとともに保護者、地域住民と十分に協議を重ねながら計画に沿った統廃合に取り組みたい。



▲耐震補強大規模改造工事が行われる東光小学校

笹本 牧司 議員 (萌政会)

【問一】学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であり、災害発生時には児童生徒や地域住民の命と安全を守る緊急避難場所としての役割がある。
財政状況を踏まえ、学校適正配置の実施計画に合わせながら緊急度・優先度を考慮して整備していく必要がある。これからの耐震化の計画、そして老朽化した校舎の改

修・改築の計画を伺いたい。
【答二】学校施設の耐震化について東光小学校の校舎、潮静小学校の体育館が未整備となっており、東光小学校の校舎は「耐震補強大規模改造」を平成二十七年から進めていく。潮静小学校の体育館はできるだけ早い時期に整備を進める。

【問一】留萌市の人口減少・地方創生プロジェクトチームを設置した。平成二十七年は、財政健全化の最終年度として計画どおり健全化を完了する。
また、雇用の創出や新規就農者支援、減圧低温乾燥機による新たな商品開発などの農林水産業の振興策、るもい健康の駅を活用した健康産業への取り組みなど、留萌の特色を生かした施策を継続し、地方創生につなげていきたい。
早期の人口ビジョン、創生総合戦略、地方創生計画の策定を目指し、国の示すタイムリミットを逃さず対応していきたい。

【答二】防災計画の見直しは、道の新たな津波浸水想定の結果を受けて留萌市地域防災計画、留萌市防災ガイド・マップ、そして津波避難計画を修正し、市民に周知を図ってきたい。津波浸水予測が従来の予測を大幅に超えているのは理解している。しかし、津波の浸水予測は地震の発生場所によって大きく異なることやさまざまな意見もあり、道の詳細な分析による予測図を待つて改定を行う。



▲留萌市防災ガイド・マップ

【問一】平成九年からスタートした船場公園整備事業の事業費総額、公園の特徴と利活用方法について伺いたい。特産品販売や食の提供など市民要望も多いが、留萌らしさを出した船場公園の姿をお聞きたい。
旧北海道合板工場跡地活用について、建物の耐震、老朽化による危険性をどのように評価しているのか、副港周辺地区の整備を進める観点からも施設解体の判断を伺いたい。



▲船場公園の虹のガーデン

【問一】船場公園は、水と緑の潤いと人の流れを中心市街地に誘導する「ふれあい交流地区」の中心施設であり、情報発信の場として整備。事業費総額十七億六千六百万円を見込んでいます。管理棟は一階にイベントホール、体験学習室、トイレ、二階に展望休憩室、屋上テラスを設ける。市民や観光客が憩い集うコミュニティパークとして整備を進めている。

【問二】今年度から四力年で市内全域の給・配水管および送水管の水道管理情報システムを構築する。その際、既存台帳と現地照合を行い、埋設深、水圧や位置の調査、漏水の有無を調査。この調査に基づき更新計画を立て進めていく。

【問一】昨年九月に起こった水道配水管の水圧低下と断水の再発防止を含めた今後の整備方針をお聞きたい。幌糠地区送水管整備事業の進捗状況と給水開始までのスケジュールを伺いたい。

【問二】今年度より工事開始給水開始は、二十九年四月を予定している。

こんなことが決まりました

第4回定例会 平成26年12月2日~10日

平成26年第4回定例会が9日間の会期で開催され、一般会計補正予算、条例の一部を改正する条例制定などを審議しました。

【議案】

- 留萌市議会の議決すべき事件を定める条例制定について
地方自治法第96条第2項の規定により、現時点で議会の総論として必要と考えられる議会の議決すべき事件に関し必要な事項を定めるため、この条例が可決されました。
- 留萌市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市議会政務活動費交付条例の一部を改正する条例制定について

ほか15件…………… 原案可決

【意見書案】

- 「女性が輝く社会」の実現に関する意見書
- C L Tの普及促進による林業・木材産業の活性化を求める意見書
- 地域の中小企業振興策を求める意見書

ほか3件…………… 原案可決

一、留萌を印象づける広域交流拠点
二、留萌市の水道事業再考

第一常任委員会報告

安心安全な水道事業

平成二十六年十月二十七日に開催された第一常任委員会において、都市環境部から九月二十五日に留萌市東部地区で発生した出水不良や管末地区の一部断水事案の発生とその原因究明や補修状況について報告を受けた。

原因については、配水管の途中にある使用されていない流量計にあると推定し、パイパス管を設置し、流量計を除去して補修を完了した。

補修工事の間、市民生活に支障の無いように給水車やポリタンクを準備して待機し、水圧低下の連絡があった一部の市民に対して応急給水を実施した。補修後は特に不具合は発生していない。

また、今年度に連続して発生している送水管の漏水事案についても報



▲送水管の補修

告された。昨年四月以降五件発生し、四件は増毛町阿分、一件は礼受でいずれも国道に沿う地域で発生している。原因は、送水管の老朽化と地下水の浸食による劣化と判断するとの報告であった。

水道は、市民生活に直接影響する重要事項であり、また、その維持には大きな予算を必要とする。

委員会としても都市環境部と連携して安定した水道事業となるよう、今後も調査研究を継続する。

留萌市農林水産振興基本計画

平成二十六年十一月二十一日に地域振興部から「留萌市農林水産振興基本計画」が報告された。

この計画は、留萌市の第一次産業にとつて重要なものであり、委員会としても策定段階から意見を述べてきた。

所管の農林水産課からは、これまで留萌市農業関係者や林業協同組合そして漁業関係者などの意見交換やパブリックコメント、十一月中旬の庁議を経て、計画が完成されるまでの経過、原案からの修正事項などについても報告された。

この計画は、留萌の一次産業の方向を示すものであり、委員会としても、今後も計画の実施状況を注視していく。

第二常任委員会報告

学校給食センターの環境改善と調理機器更新計画

平成二十六年十一月二十日に開催された第二常任委員会において、「留萌市学校給食センター調理衛生環境改善及び調理機器更新計画」についての報告があった。

学校給食センターは、平成三年一月に供用が開始され、年間二百日、一日約千七百食、市内の全小・中学校に、安全安心で美味しい給食を供給している。また、新たな課題である食育の推進や地産地消など、学校給食の果たす使命として注目されている。しかし、経年劣化した調理機器は修繕などにより対応してきたが、限界に来ており、早急な調理機器の更新と調理衛生環境を一層充実するため、二十六年年度を初年度とし、三十一年までの六カ年で、毎年



▲調理機器の更新計画が策定された給食センター

三千万円程度ペースで計画的に更新を進めていくこととなった。今年度は、調理従事者専用トイレ設置、保温食缶の購入、来年度は食器購入、食器洗浄機や食器浸漬装置が更新される。

留萌市子ども・子育て支援事業計画策定に向けて

全ての子どもたちの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的とした「留萌市子ども・子育て支援事業計画」策定作業が進んでいる。

計画策定にあたり設置された子ども・子育て会議での審議を経て、計画案ができた。

平成二十七年四月から新制度が始まり、市においても、①保育の必要性の認定基準、②家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準、③特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準、④放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例が制定された。

計画の策定にあたっては、次世代育成支援行動計画を継承し、市で策定する各種計画と連携を図っていくことから、議会全体での取り組みが必要と考え、第一常任委員会と第二常任委員会の連合審査で今後の審議を進めていく。

留萌市議会危機対策会議研修会報告

留萌市議会では、議会基本条例第二十四条「危機管理」に基づき、「留萌市議会危機対策会議」として常設の組織を設置し、不測の事態に備えています。この条例により、危機対策会議を常設する際に議論されたことを確実に推進し、この条例を有意なものにすることが急がれます。

また、危機管理体制をより実効性のあるものとするため、「留萌市議会における危機管理初動マニュアル」についての理解を深め、危機対策会議の機能について再確認するため、研修会を開催しました。

東日本大震災の際に失われた多くの命を思い、危機管理初動マニュアルは、日々の活動の中に災害の予防意識と、災害時の議員個々の行動の指針を統一しておくことで、議会としての連帯が醸成されることと思えます。

併せて、市民の代表である市議会議員が自ら救命に必要な心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の重要性と正しい使用法を身につけるた



▲市議会本会議場で行われた普通救命講習

留萌消防組合議会報告

第三回臨時会が平成二十六年十一月二十八日に、第二回定例会が十二月十八日に開催された。臨時会では、人事院勧告を受け、それに準拠するために、「留萌消防組合職員給与条例の一部を改正する条例制定について」「留萌消防組合職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について」を審議し可決された。

定例会では「平成二十五年留萌消防組合歳入歳出決算の認定について」を審議し、認定された。「平成二十六年留萌消防組合補正予算(第三号)について」「工事請負契約の締結(消防庁舎改築工事)の(一)建築主体)について」の議案も可決された。また、平成二十六年第五回留萌消防組合議会全員協議会において、消防庁舎建設に係る進捗状況について、消防救急デジタル無線整備に係る進捗状況についての情報提供を受けた。

庁舎の建設およびデジタル化は、皆さんの安心安全を守る常備消防の要となる事柄であり、今後も議会として、しっかりと対応していく。

留萌南部衛生組合議会報告

平成二十六年十二月二十四日に留萌市・増毛町・小平町の一市二町で構成される南部衛生組合議会第二回臨時会が開催され、議案第七号留萌南部衛生組合火葬場条例の一部を改正する条例の制定並びに議案第八号平成二十六年留萌南部衛生組合補正予算(第三号)が可決された。

火葬場条例の改正内容は、その他の地域住民の火葬場使用料金の改正であり、管理費等を勘案した使用料となる。

また、先日開催された南部衛生組合議会議員協議会では次のことが報告された。

生ごみ処理施設のスクリーナー状の鍊混機の破損についてと過日行われた視察において、議員から意見が出た生ごみ処理施設の鉄製柵の錆について報告があった。

鍊混機のスクリーナー破損について、議員から今後も同様の破損が繰り返されること想定され質問が集中した。今後も議会として、注視していく。

議会広報特別委員会

議会広報特別委員会が改選期後から常任委員会になることが決まりました。広報発行に限定した活動から、一歩前進し、広報広聴に関して活動の場を広げ、開かれた議会づくりの一翼を担ってまいります。

今後の広報広聴に関わる内容について調査研究を行っていますが、調べていくと、さまざまなマチで議会広報は発行されていますが、市民の皆さんに読んでいただけないことが、共通の課題となっていくように思います。

- 委員長 菅原千鶴子
副委員長 鶴城 雪子
委員 燕 昌克
委員 川口 宏和
委員 天谷 孝行

暮らし 「雪に埋もれた車の中は危険です」一酸化炭素中毒に注意してください

▼冬期間の車での外出は、気象情報に注意し暴風雪などが予想される場合は外出を控えてください。万が一、車が雪に埋もれてしまい救助などを待つときは、一酸化炭素中毒を防ぐために下記に注意してください。

○車が雪に埋もれているときにエンジンをかけ続けると、排気ガスが車内に入り込み、一酸化炭素中毒の危険性がありますので、エンジンを停止してください。



○防寒などで、やむを得ずエンジンをかけるときは排気管出口を確実に大気へ開放し、降雪などによる再埋没に注意し、こまめに雪を取り除いてください。



○窓を開けていても、風向きや窓の開度などにより、窓を閉めているときよりも一酸化炭素中毒の危険性が高くなる場合がありますので、常に換気に注意してください。

※一酸化炭素は、無色・無臭のため自覚することが困難です。音や光で危険を知らせてくれる「一酸化炭素警報器」は、中毒事故防止の注意喚起に有効です。

問 市・総務課 ☎56-5005

税・年金・保険 「平成26年分の確定申告」について

▼平成26年分の確定申告が始まりますので、期間内に申告を行ってください。また、所得税の確定申告書は国税庁のホームページ (<http://www.nta.go.jp>)でも作成することができます。

所 市役所 1階税務課市市民税係

日 2月16日(月)～3月13日(金) (土日除く)

9:00～11:30、13:00～16:00

所 留萌税務署 (還付申告は下記期間以外も受け付けています)

日 2月16日(月)～3月16日(月) (土日除く) 9:00～17:00

●申告に必要なもの

※証明書や領収書は平成26年中に支払ったものが対象です。

- ①印鑑 ②源泉徴収票など所得を証明できるもの
- ③国民健康保険税、国民年金保険料、社会保険料などの領収書または証明書 ④生命保険料、地震保険料などの証明書 ⑤医療費控除を受ける場合は医療費などの領収書 (個人ごと、病院・薬局ごとに整理して提出)
- ⑥配偶者に所得がある方は、その所得が証明できるもの ⑦還付申告は本人名義の振込口座がわかるもの ⑧障害者控除を受ける場合は障害者手帳など

●市役所で申告をしなくてもよい方

- ①勤務先で年末調整を行い、給与支払報告書の提出がある方 ②税務署で確定申告をする方 ③所得がなく、扶養家族になっている方など

問 市・税務課 ☎56-5004 留萌税務署 ☎42-0661

学ぶ 「平成27年度留萌市奨学生」募集について

▼市では、学生が経済的理由で進学を諦めることがないよう、学費の一部を援助する奨学金の貸付を行っています。希望する学生は、市内中学校および高等学校、市・教育委員会学校教育課に設置の願書 (下記ホームページからもダウンロードできます)などを提出してください。

対 大学、専門学校、高校に進学し選考基準を満たす方

申 2月2日(月)から27日(金)までに下記の必要書類を在学する学校を経由して市・教育委員会学校教育課へ提出願います。

- ①願書
- ②学校長の推薦書
- ③成績証明書 (学校作成の調査書可)
- ④健康診断書 (学校で行う健康診断書の写し可)
- ⑤世帯全員の所得課税証明書

●貸付金額 大学生 18,000円
(1カ月) 専門学校生 14,000円
高校生 9,000円

●返済期間 貸付終了後10年以内に返済 (無利息)

●選考基準 ①現在の3年間の評定平均が3.3以上
②世帯の1年間の総所得金額が別に定める基準以下
※詳しくは下記にお問い合わせください。

問 市・教育委員会学校教育課 ☎42-3006

HP <http://www17.ocn.ne.jp/~rumoikyo/>



今月も知っておきたい情報が満載です!

暮らしのお知らせ

問 問い合わせ
☎ 電話 FAX ファクス
HP ホームページ
メール Eメール

凡例 日 日程・日時 所 場所・会場 対 対象 定 定員 費 費用 内 内容 申 申込方法など

子育て 「平成27年度保育園の入園児」募集について

▼保育園の入園児を募集します。保護者が(両親とも)下記のいずれかに該当し、日中保育することができない家庭の児童が対象となります。ただし、同居の親族が保育できる場合、利用の優先度が調整される場合があります。

- ①保護者が一月当たり48時間以上就労している場合
- ②保護者が出産前後(おおむね産前8週、産後8週)の場合
- ③保護者が病気、ケガ、心身障がいなど就労困難の場合
- ④保護者が同居の病人や心身に障がいのある方の世話をしている場合
- ⑤火災、震災、風水害など災害の復旧に従事している場合
- ⑥求職活動中(起業準備を含む)の場合
- ⑦学校に在籍または職業訓練を受けている場合
- ⑧虐待やDVの恐れがあり、保育の必要性が認められる場合
- ⑨育児休業中にすでに保育園を利用している子どもがいて、継続利用が必要な場合
- ⑩その他、①～⑨に準ずる事由がある場合

●募集対象保育園

保育園名	住所・電話番号	定員	保育対象	送迎バス
留萌保育園	寿町2丁目 ☎42-7273	90人	乳児(0歳児)～、障がい児	有料(定員12名)原則3歳児以上
沖見保育園	沖見町5丁目 ☎42-7225	90人	乳児(0歳児)～、障がい児	有料(定員39名)1歳6カ月児以上
みどり保育園	高砂町3丁目 ☎42-7226	120人	1歳児～、障がい児	なし

申 2月2日(月)から13日(金)まで(土日、祝日除く)に市・教育委員会子ども課へお申し込みください。

○申込用紙は、市・教育委員会子ども課、各保育園で配布しています。

○平成27年度から保護者の就労時間などによって、保育必要量の認定(「保育標準時間(1日当たり最長11時間)」または「保育短時間(1日当たり最長8時間)」)を行います。

○定員や入所基準により入園できない場合がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

問 市・教育委員会子ども課 ☎42-1808

暮らし 屋根から落ちる雪や氷、つららに注意してください

▼屋根から落ちる雪や氷、つららによる事故を防ぐため、下記に注意しましょう。

○落氷の恐れのある建物には安全管理のため、雪止めを設置してください。

○気温が上昇したとき(約-3℃～約+3℃)は、屋根から雪や氷が落ちやすいため、早めに落としてください。その際は歩行者などに十分注意してください。

○大量の雪が屋根から落ちたときは、直ちに事故がないか確かめ、すみやかに処理してください。

○屋根から落ちた雪や敷地内の雪を道路に出さないでください。

○軒下を通行するときは屋根からの落氷雪に注意してください。

○軒下や道路では、子どもを遊ばせないでください。



問 市・都市整備課 ☎42-2010 留萌開発建設部 ☎42-2315

留萌振興局 ☎42-1849 留萌警察署 ☎42-0110

入居者募集 「市営住宅入居者」募集について

▼市営住宅の入居および補欠入居申込者を募集します。

日 2月3日(火)～5日(休)

9:00～15:00

所 市役所 1階ロビー

申 申込書は2月5日(休)まで、市・都市整備課にて配布します。
※詳しくは下記にお問い合わせください。

問 市・都市整備課

☎42-2025

認知症の専門医も使用をすすめる注目のフェルラ酸

米糠油から抽出された天然ポリフェノールである「フェルラ酸」には、老化やアルツハイマー病などにより、傷んで減少した脳細胞を修復し、細胞が死んでしまうことを防いでくれる脳細胞保護作用があり、アルツハイマー型認知症に有効との論文がいくつか発表されている今注目の素材です。

お問い合わせは **江戸薬局** 留萌市錦町3丁目 ☎42-0697

家事のお手伝いからお年寄りの介護まで
皆さんの生活をサポートします

家政婦さんをご紹介します

家政婦さんをご紹介しますために、家政婦さんとして働いてみたい方の登録を受け付けています。

江戸薬局 ハウスキーパーバンク
グループ ☎42-0697 (江戸薬局内)

本当によかったを形に 優しい気持ちがいっぱいの斎場です

NISHIKIDO HANAZONO FUNERAL HALL
にしきどう 花園市民斎場

一般社団法人 日本儀礼文化調査協会 JECIA ★★★★★ 認定

安心の24時間 電話対応
留萌市花園町2丁目3-23 ☎0120-43-9000

留萌市開運町1丁目4番9号 (AKさし橋向) TEL (0164) 42-8111
■ 営業時間 AM 10:00～PM 6:30 ■ 定休日 毎週火曜日

花 結 はなむすび

仏壇仏具専門店 NISHIKIDO

●安心して仏壇をお選びいただくために
正しい品質表示と原産国表示をするこのマークのある 確かな仏壇店でお求めください
※原産国や品質表示を適正に表示をすることなく販売をする仏壇店が増えていますので、ご注意ください

皆さんの安全で快適な消費生活を守るために！
**消費生活センターを
利用しましょう！** ④

「利用した覚えのない請求が届いたがどうしたらよいか」という、いわゆる、架空請求に関する相談が、全国の消費生活センターへ多く寄せられています。

請求の名目は、有料サイトの利用料が多く、請求手段は、メール、はがき、封書など多様で、最近では、実在する公的機関によく似た名称を名乗り「法的手続きを取る」などと、不安をあおるような脅し文句が書いてあることもあり、送られた人の中には、関わりたくない一心で振り込んでしまったり、家族が使ったと思いきり込み支払ってしまう人もいます。

架空請求は、こういった勘違いや関わりたくない気持ちに付け込む手口です。

覚えのない請求がきたら、相手に連絡せず、お金を支払わずに無視してください。個人情報をご以上与えないことが重要で、決して関わらないようにしましょう。不安を持った場合には消費生活センターに連絡ください。

問 留萌消費生活相談窓口 ☎42-0651

市立図書館 2月のお知らせ

【ブックスタート】 **所** はとふる9カ月児健診会場

日 25日(水) 13:00～

【ちいさいこのおはなしかい】

日 13日(金) 11:00～ **対** 0・1・2歳児

【土曜おはなし会】

日 14日(土) 13:30～ **対** 幼児・小学生

日 21日(土) 13:30～ **対** 幼児・小学生

【水曜おはなし会】

日 25日(水) 11:00～ **対** 0・1・2歳児

【映画会】 2月はお休みです

【休館日】

1月26日(月)～2月2日(月) (蔵書点検休館)

※年1回、約10万冊の本を点検するため休館します。

2月9日(月)、16日(月)、23日(月) (月曜休館)

27日(金) (館内整理休館)

問 市立留萌図書館 ☎42-2300



社会福祉コラム ⑨

「知ってほしい！障がい福祉のこと」

▼障害者手帳による助成・援助について

障害者手帳の交付を受けた方は、運転免許取得費の助成やNTT無料番号案内などの制度を利用することができます。

ただし、障がいの種類や程度、世帯の課税状況などによって利用できない場合があります。

▼どのような制度がありますか？

上記の制度のほかに、NHKの放送受信料の減免を受けられる制度や障害者手帳をお持ちの方の同乗

する車が駐車規制から除外される標章を障がい者本人に交付する制度などがあります。

各制度の申請場所は、NHKや留萌警察署など、制度により異なりますので、各制度の詳細については下記までお問い合わせください。

今回は、障がい福祉について、これまでのまとめをお知らせいたします。

問 市・社会福祉課 ☎42-1807

介護業界の人材不足解消のため、多くの人に資格が取得できるよう受講料割引キャンペーンを開催！
好評につきキャンペーン延長 3/31迄 当校基本受講料(初級費・税込) ¥129,800 ▶ ¥79,800

介護ヘルパー初級講座 介護職員 初任者研修 **受講生募集**

まずは無料説明会へどうぞ ●予約は不要です。1回/60分程度。●お好きな日時にご来場ください。

■留萌校 留萌市中央公民館

留萌市見晴町2丁目27 ※無料駐車場有り

●2月5日(木)10時～14時 ●2月7日(土)10時～14時
●2月19日(木)10時～14時 ●2月20日(金)10時～14時



以前は保育士の仕事をしていましたが、仕事の幅を広げたいと思い三幸福祉カレッジを受講しました。先生方の授業は熟意があり、順調に資格取得ができました。修了後は三幸の「就職支援部」の紹介でデイサービスに就職しました。 デイサービス勤務 修了生 岡谷 友美さん

学校法人 三幸学園グループ 株式会社 日本教育クリエイティブ ●案内書無料送付いたします。
三幸福祉カレッジ 教育訓練給付制度対象講座 ☎0120-294-350
http://www.sanko-fukushi.com

留萌市以外から「オロロン・スノーパラダイス2015」のお知らせ 開催について

▼雪のわくわく迷路でミニゲーム、けあらしの里でドラム缶風呂や雪だるま作り、キャンドルで照らされた雪の迷路などのイベントで留萌の冬を楽しみませんか。

日 2月7日(土)～8日(日)
10:00～19:30(8日(日)は15:00まで)

所 留萌合同庁舎 **費** 無料(一部有料)

○天候によってはイベントが中止になる場合があります。
○イベントの詳細はチラシまたは下記ホームページをご覧ください。

問 オロロン・スノーパラダイス・プロジェクト事務局(留萌振興局地域政策課) ☎42-8421

HP <http://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/>

留萌市以外から「第17回 萌っこ春待里」開催のお知らせ について

▼優勝賞金3万円の萌っこぼんばレース、小学4～6年生対象のサッカーPK戦や豪華景品が当たるカンパ券大抽選会のほか、すりみ汁やエビ汁などの無料提供、屋台がズラリと並ぶグルメ街道などのイベントを用意して、皆さんの参加をお待ちしています。

日 2月15日(日) 10:00～14:00

所 陸上自衛隊留萌駐屯地グラウンド

○カンパ券をお持ちの方は、自衛隊前の乗降に限り、市内循環バスの無料乗車券として使用できます。
※当日のみ、1枚につき1人の使用に限ります。

問 萌っこ春待里実行委員会事務局 ☎090-7658-6633

HP <http://yukarin.oops.jp/haru/>

留萌市以外から「増毛町営暑寒別岳スキー場「無料送迎バス」運行について

▼「無料送迎バス」運行の時刻表は下記のとおりです。

日 3月1日(日)までの毎週土日曜日および祝日

所 留萌合同庁舎前発着

○定員(40人程度)を超えた場合は乗車できない場合があります。

行 き		
留萌合同庁舎前発	9:30 ⇒ スキー場着	10:20
帰 り		
スキー場発	16:30 ⇒ 留萌合同庁舎前着	17:20

問 増毛町営暑寒別岳スキー場 ☎53-3002

環境 灯油タンクは大丈夫ですか？

▼毎年、冬から春にかけて雪に埋もれていた家庭用灯油タンクの接合箇所や配管などが、雪の重みで破損し、灯油が漏れ出す事故が発生しています。油が流れ出ると、隣近所に迷惑をかけるだけでなく、川や海の自然環境汚染にもつながります。時々、灯油タンクを点検し、油の流出を防ぎましょう。

問 市・環境保全課 ☎42-1806

留萌市以外から「国民年金保険料の「2年前納(口座振替)」について

▼2年度分の国民年金保険料を口座振替でまとめて納付する「2年前納」を利用すると、毎月納付する場合に比べ、2年間で14,000円程度の割引になります。

口座振替を利用することにより、納め忘れを防ぐことができ、2年前納の全額がその年の社会保険料控除の対象になります。

申 申し込みの期限は毎年2月末までです。

「国民年金保険料口座振替納付(変更)申出書」に必要事項を記入し、預貯金口座をお持ちの金融機関または年金事務所へ提出してください。

口座振替の申し込みには、基礎年金番号の記入が必要です。年金手帳や納付書で基礎年金番号を確認してください。また、金融機関届出印が必要となります。

問 留萌年金事務所 ☎43-7211

留萌市以外から「OAビジネス科」受講生募集について

▼ウインドウズの基本操作、ワードやエクセルなどのパソコン操作を基礎から習得し、再就職を目指す「OAビジネス科」の受講生を募集します。

日 4月9日(木)～7月3日(金) **定** 20人

所 留萌地域人材開発センター(パワスポ留萌)

費 無料(テキスト代、各種検定料は別途自己負担)

申 2月16日(月)から3月13日(金)まで(土日除く)に下記までお申し込みください。(選考日3月24日(火))

○詳しくは下記までお問い合わせください。

問 留萌公共職業安定所(ハローワーク留萌) ☎42-0388

はーとふる

健康コラム

「始めよう、朝食習慣！」

朝食は一日のエネルギー源です。朝食を摂らないと、体も脳もエンジンがかからず、物事に集中できません。昼食や夕食を摂りすぎる、体脂肪をためやすくなるなどの悪影響も出ます。

朝食がもたらす効果には、

①体温上昇効果：午前中から体も脳も活動状態になり、活発に働くため、眠気が防止できます。

②脳にエネルギー補給：脳のエネルギー源であるブドウ糖の元となる主食（ご飯やパンなど）をしっかり朝に摂ることで、脳の働きを助けます。

空腹で目を覚まし、しっかりと朝食を摂る工夫として、夜更かしをしない、夜食は摂らない、深酒を避けるなどの方法があります。

毎日朝食を摂り、生活リズムを整え、1日を元気に過ごしましょう。

保健福祉センターはーとふる ☎49-6050

●乳幼児健診 対象児には事前に文書でお知らせします

3日(火)	3歳児(24年1月生)	【受付】 13:00 ～13:30
4日(水)	1歳6カ月児(25年7月生)	
24日(火)	4カ月児(26年10月生)	
25日(水)	9カ月児(26年4月生)	

●フッ化物塗布 予約制で料金は1回500円です

対象は1歳6カ月以上の子どもです

5日(木)	10:00～11:00	13:00～15:30
19日(木)	10:00～11:30	

●ピンピンからだ広場

高齢者対象の筋力アップ体操 ～時間内出入り自由～

毎週月曜日	10:00～12:00	13:30～15:30
毎週金曜日		

●母子健康・栄養相談(乳幼児)

乳幼児の発育・発達などについてご相談ください

5日(木)	9:30～11:30	13:00～15:00
-------	------------	-------------

●一般健康・栄養相談(乳幼児～成人)

年齢を問わず健康相談を行います

17日(火)	10:00～11:30	千鳥児童センター
--------	-------------	----------

※各種予防接種やがん検診は、広報るもい4月号に折り込みしたオレンジ色の用紙「留萌市保健予防事業一覧」をご参照ください。
※保健福祉センターはーとふるでは随時、電話や来所での相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

るもい健康の駅 休館日 月曜日・祝日 【開館時間】9:00～17:00/9:00～20:30(水・木) ※20:00以降は入館できません ☎43-8121

2月のイベント

7日(土) 9:30～11:30 基礎老年医学講座③「循環器疾患(心不全、BLS)」
講師：札幌医科大学 教授 小海 康夫氏

7日(土) 13:00～14:30 救急蘇生法とAED体験講習会

14日(土) 9:30～11:30 基礎老年医学講座④「呼吸器疾患(肺炎、COPD)」
講師：札幌医科大学 教授 小海 康夫氏

24日(火) 13:00～14:30 認知症サポーター養成講座

【お知らせ】市民公開講座「なぜ高齢者に多い?～骨粗しょう症の予防と運動～」

【日】2月15日(日) 10:00～ 【所】るもい健康の駅ホール
講師：北郷整形外科医院 副院長 高田 潤一氏

参加料無料

2月22日の
日曜当番医院

富山整形外科

末広町1丁目 ☎42-2030 9:00～17:00

※上記以外の日曜日・祝日および夜間の診療はかかりつけの病院・医院へお問い合わせください。
※市立病院は二次医療病院として、すべての土曜日・日曜日・祝日・夜間に対応しています。

からだすこやか ところイキイキ

健康ひろば



「冬の運動は痩せやすい!—寒い冬こそ体を動かしましょう!—」

●冬は太りやすいけど、痩せやすい!?

冬はどうしても動くのが面倒になり、運動量も減がちです。そして、体も本能的に脂肪をつけて体温を保とうとします。体を温めるためにはエネルギーが必要なので、本能的により多くの食物を摂取しようとする。この時期はイベントも多く、美味しい物を食べる機会も重なるため、どうしても太りやすくなります。

しかし、体がエネルギーを必要とするということは、エネルギーを使ってより多くの熱を作るため、基礎代謝も上がりやすく、運動したときに脂肪が燃えやすくなります。つまり、冬は運動で脂肪を落としやすく、痩せやすい時期とも言えます。

●留萌市民は運動不足!?

健康づくりの理想とされる歩行量1日1万歩は、時間にすると90分強になりますが、「平成24年度健康づくりアンケート(留萌市健康づくり計画に基づく)」によると、「1日の歩行時間が90分以上の人の割合」は、男性10.8%、女性9.8%であり、1日1万歩を達成している市民は、1割前後しかいないことがわかります。

また、「定期的に運動している人の割合」は、男性19.5%、女性18.9%。平成24年国民健康・栄養調査では、男性36.1%、女性28.2%でした。市の調査とは内容が一致しないところもあり、一概に比較はできませんが、国全体と比べても、留萌市民は運動不足の状況にあるようです。

●運動のメリット

運動には、肥満予防、心肺機能の向上、ストレス解消、血圧や血糖値を安定させるなどの効果があり、健康の維持管理には欠かせません。

また、国が掲げる健康づくりスローガン「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」で示されているように、運動は生活習慣病予防の取り組みの第1優先項目にもなっています。

●冬の運動と注意点

冬は除雪で汗を流す方も多いと思いますが、除雪も運動の1つです。また、冬の運動としては、気温差が少な

い屋内での運動がお勧めで、市内で運動できる施設としては、スポーツセンターやるもい健康の駅があり、各種教室も実施しています。

屋外での運動で取り組みやすいものとして、ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動があり、市では市民が楽しく取り組めるように「健康づくりウォーキングマップ」を作成し、保健福祉センターはーとふる、市役所、中央公民館、るもい健康の駅などに設置していますので、ぜひご利用ください。

冬に取り組める運動は色々ありますが、寒い時期の運動は体に負担がかかりやすいため、注意して行う必要があります。

寒い時期には、体がかじかんで硬くなり、そのまま運動をすると、筋肉や腱を傷めることになりやすいため、十分な準備運動が必要です。

温かい屋内から寒い所へ急に出ると、その温度変化によって血管が収縮し、血圧が急上昇します。

これにより、心臓や脳が急激な負担を受けて、倒れることがあります。そのため、少しずつ外気温に体を慣らしていくことが理想的です。

そして、寒さ対策も必要です。保温性がある薄手の物を数枚重ね着し、最初のうちは少し厚着をしておき、運動をして身体が温まったところで1枚ずつ脱ぐようにすると、急激な血圧上昇が抑えられます。また、体温が逃げやすい頭部、首、二の腕の後ろ、膝の後ろなどは、帽子、ハイネックのシャツ、長袖の重ね着、ハイソックスなどでしっかり保温してください。屋外での運動は、路面が雪や氷で滑りやすいため、滑り止めの付いている靴を履くなどの安全対策も重要です。

冬は空気が乾燥しているため、知らず知らずのうちに肌から水分が蒸発したり、喉の渇きも自覚しにくく、水分摂取も少なくなるため、脱水状態になりやすいです。

運動の前後は、意識的に水分を摂取するようにしましょう。

この機会に今より少し多く体を動かし、クリスマスやお正月などでついた脂肪を落としてみませんか?

問 市・保健医療課(はーとふる内) ☎49-6050

移動献血車「ひまわり号」が巡回します

▼輸血用血液は全血液型が不足しています。皆さんの献血へのご協力をお願いします。

問 市・保健医療課(はーとふる内) ☎49-6050

巡回日時	実施場所
2月17日(火)	10:00～16:00 留萌合同庁舎前 住之江町2丁目
2月20日(金)	10:00～11:00 空知商工信用組合留萌支店前 末広町2丁目
	12:30～14:30 市立病院職員通用口前 東雲町2丁目
2月23日(月)	15:00～16:30 保健福祉センターはーとふる前 五十嵐町1丁目
	10:00～12:30 留萌開発建設部前 寿町1丁目
2月24日(火)	14:00～16:30 ホーマック・マックスパリュ前 南町4丁目
	10:00～16:00 市役所前 幸町1丁目

※天候や道路状況により、実施時刻が変更になる場合があります。

留萌市市民憲章

わたくしたちは美しい日本海と留萌川にそう山々の緑にかこまれた留萌の市民です。港を中心に栄える産業都市、豊かで健康な文化都市がわたくしたちのねがいです。このねがいを実現するため市民憲章をさだめます。

- 1 海の資源や山の緑を大切に美しい市にしよう。
- 1 人に迷惑をかけず公共の物を大切に清潔な市にしよう。
- 1 きまりを守り、みんなですすめ合う秩序ある市にしよう。
- 1 働くことによるこびをもつて、仕事に精を出し豊かな市にしよう。
- 1 丈夫なからだとかかるい心もち、平和な市にしよう。



▲市の木「アカシア」



▲市の花「ツツジ」

市長とフリートーク
してみませんか？

毎月1回、市民の皆さんと市長との対話の機会を設けています。参加人数、話題、形式は問いません。また、事前の受付もありません。時間内であれば、いつでもお越しください。

日 2月27日(金) 9:00~17:00
所 市役所市長室
問 市・政策調整課 ☎42-1809

市長とホットライン(FAX) 0120-223-846
市民の声メール koucyou@e-rumoi.jp

お茶の間トーク

あなたが知りたい「市政のいろいろ」、市の職員が直接出向いてわかりやすく説明します。お申し込み・お問い合わせは☎42-1809まで

お気軽に申し込みください

困ったときは
相談しましょう

- 市民相談 市民課 ☎56-5003
- 健康・栄養相談 保健福祉センターはとふる ☎49-6050
- 教育相談電話 学校教育に関すること 教育委員会学校教育課 ☎42-3006
- 児童福祉に関すること 教育委員会子ども課 家庭児童相談室 ☎42-1808
- 社会教育に関すること 教育委員会生涯学習課 ☎42-0435
- 高齢者に関する相談 地域包括支援センター ☎49-6060
- 防災相談 総務課 ☎56-5005



市役所あての郵便物は下記郵便番号とあて名(留萌市役所・担当課)で届きます。
〒077-8601 留萌市幸町1丁目11番地



ホームページ <http://www.e-rumoi.jp/>
e-メール kikaku@e-rumoi.jp

人口と世帯数 平成26年12月末現在

・総人口	22,963人	(-12人)
・男	10,960人	(-16人)
・女	12,003人	(+4人)
・世帯数	11,932世帯	(-12世帯)

※()内は前月比

人口動態 平成26年12月末現在

・出生	11人	・転入	39人
・死亡	23人	・転出	39人

納税について

- 今月納期の市税 ・国民健康保険税 8期 納期限 3月2日(月)
- 夜間納税相談窓口 2月26日(木) 20:00まで
- 休日納税相談窓口 2月22日(日) 9:00~17:00

FM 76.9MHz エフエムもえる

留萌市情報プラザ

朝	8:05~8:10	災害時は76.9MHz 留萌市とエフエムもえるは 災害協定を結んでいます
夕	5:05~5:10	

主な電話番号

- 下記以外のお問い合わせ 総務課 ☎42-1801
- 市の財政、地籍調査など 財務課 ☎42-1813
- 道市民税など 税務課 市民税係 ☎56-5004
- 固定資産税など その他の係 ☎42-1804
- 広報、町内会、市民活動など 政策調整課 ☎42-1809
- 農業、漁業、水産加工業など 農林水産課 ☎42-1837
- 商工業、観光、港湾など 経済港湾課 ☎42-1840
- 社会福祉施設、生活保護、障がい者に関する事など 社会福祉課 ☎42-1807
- 戸籍、各種証明、国保・後期、医療費助成など 市民課 ☎42-1805
- 道路、公園、市営住宅など 都市整備課 ☎42-2010
- 水道料金や上下水道のトラブルなど 上下水道課 上水道係 ☎42-5151 下水道係 ☎42-2049
- 公衆衛生、市営墓地など 環境保全課 ☎42-1806
- 市内の小中学校など 学校教育課 ☎42-3006
- 児童手当、保育園など こども課 ☎42-1808
- 社会教育、スポーツなど 生涯学習課 ☎42-0435
- 健康づくり、介護保険など 保健医療課 ☎49-6050 介護支援課 ☎49-6070
- るもい健康の駅など コホートピア推進室 ☎56-1535
- 広域ごみ処理、粗大ごみなど 留萌南部衛生組合 ☎43-2555

連載コラム ごみ減量のコツ

[vol.27]

綿50%以上の綿製品は、「工業用ぞうきん」として再利用するために回収をしていますが、不適切な排出が多くなっています。選別作業が大変な状況となっていますので、適切な排出にご協力をお願いします。

●綿製品回収状況

平成26年度	回収1,665kg	不適切物 678kg	不適切率41%(4月~11月まで)
平成25年度	回収2,309kg	不適切物 553kg	不適切率24%
平成24年度	回収2,598kg	不適切物 1,120kg	不適切率43%

●対象となる綿製品(工業用ぞうきんにできるもの)

- ・綿50%以上の下記のもの
- メリヤス生地…シャツ、ズボン下、ベビー服、Tシャツ、ポロシャツなど
- 綿生地…シーツ、布団カバー、トレーナー、ワイシャツ、ブラウス、ステテコ、パジャマ、Tシャツ、ポロシャツなど
- タオル生地…タオル、バスタオル、タオルケット、ベビー服、バスローブなど
- ネル生地…パジャマなど

●対象とならない綿製品(工業用ぞうきんにできないもの)

- 綿50%未満のもの、厚地のもの、端切れ、ペットに使用したもの、汚れているもの、背広(スーツ、ジャケット)、Gパン、コート、防寒着、ジャンパー、ジャージ、毛糸類、布団、毛布、カーテン、靴下、ハンカチなど

●排出の方法

- ・ボタン、ファスナー類は、取り外してください。
- ・40ℓ以下(可燃埋立、不燃埋立ごみ袋のLサイズの大きさ)の中が見える袋に入れるか、そのまま回収かごに排出してください。
- ・臭いや汚れのある場合は必ず洗濯をしてください。

問 市・環境保全課 ☎42-1806

2月の粗大ごみ収集日

▼収集の申し込みは収集日2日前の15:00までをお願いします。

日程と収集地区	18日(水) 大町、瀬越町、港町、明元町、幸町、本町
	19日(木) 寿町、礼受町、浜中町、沖見町、平和台
	20日(金) 見晴町、宮園町、錦町、開運町、栄町
	25日(水) 三泊町、塩見町、春日町、元町、船場町、花園町、末広町、旭町
	26日(木) 住之江町、泉町、野本町、千鳥町、元川町、神居岩、堀川町、高砂町、五十嵐町
	27日(金) 東雲町、緑ヶ丘町、南町、潮静、大和田、藤山町、幌糠町、中幌、樽真布、南幌、峠下町、東幌

問 留萌南部衛生組合 ☎43-2555

いきいきクッキング教室参加者募集

▼20歳以上の方を対象に、手軽で美味しい生活習慣病予防のメニュー「簡単ヘルシーこつ骨ランチ」を用意していますので、ぜひご参加ください。当日、その場で塩分測定を行いますので、ふだん食べているみそ汁を持参してください。

日 2月20日(金) 10:00~13:00

所 保健福祉センターはとふる調理実習室

定 25人(定員になり次第締め切り) 費 500円

申 2月13日(金)まで(土日、祝日除く)に下記までお申し込みください。

○エプロン、三角巾(またはスカーフ、ハンカチ)、筆記用具をご持参ください。

問 食生活改善推進員協議会事務局(市・保健医療課(はとふる内)) ☎49-6050

ギガ速い。

フレッツ光は、
Wi-Fiまで「ギガ・スピード」。

FLET'S 光

(インターネット接続サービス)

フレッツ 光ネクスト / フレッツ 光ネクスト
ギガファミリー・スマートタイプ / ギガマンション・スマートタイプ

◎対象サービスに限ります(IEEE 802.11acに対応したホームゲートウェイをレンタル提供します)。◎「ギガ・スピード」とは通信技術規格における概ねの最大値に基づくイメージです。
◎お客様のご利用環境(端末機器の仕様等)や回線の混雑状況等により、通信速度が大幅に低下する場合があります。◎「フレッツ 光ネクストギガマンション・スマートタイプ」は、光配線方式でご利用頂けます。◎サービス内容、提供条件など詳しくはお問い合わせください。◎「フレッツ光」とは、「フレッツ 光ライト」、「フレッツ 光ネクスト」および「Bフレッツ」(いずれもインターネット接続サービス)の総称です。◎NTT東日本の設備状況等によりサービスのご利用をお待ちいただいたり、サービスをご利用いただけない場合があります。

お問い合わせ
お申し込みは

0120-116-116

営業時間

午前9:00~午後5:00
年中無休(年末年始を除きます)

<http://www.ntt-east.co.jp/hokkaido/index.html> [NTT東日本-北海道 北海道北支店]

k14-2611[1412-1503]

三省堂書店を応援し隊 インフォメーション

「三省堂書店を応援し隊」は、本の魅力や楽しさをひとりでも多くの方にお伝えし、地域とのつながりを大切にして、さまざまな活動に取り組んでいます。

今月の
主な活動
ご紹介

おとなのためのおはなし会

- 日時 2月10日(火) 18:30~
- 場所 留萌ブックセンター



こどもたちによるこどもたちへのおはなし会

- 日時 2月22日(日) 14:00~
- 場所 留萌ブックセンター

市内の小学生が絵本や詩を読んでもくれる「こどもたちによるこどもたちへのおはなし会」にぜひご参加ください!

第6回目は、東光小学校6年生の成田悠馬くん、山方彩裕ちゃんです。

※小学生の読み手を募集しています。下記までご連絡ください。

■お問い合わせは 三省堂書店を応援し隊 事務所 (留萌ブックセンター) ☎43-2255